



理工学研究科 環境・エネルギー・健康科学グローバル教育プログラム
(都市基盤工学コース)の大学院生がインドネシア・
ハサヌディン大学に短期留学

【概要】

理工学研究科 環境・エネルギー・健康科学グローバル教育プログラム(都市基盤工学コース)に所属する博士前期課程1年の三瀬 公博さんが、インドネシアのハサヌディン大学工学部土木工学科に2023年8月23日から約2ヶ月間留学し、講義の受講と修士研究を進めています。この留学は、本学が国際性向上のため推進する戦略的パートナーシッププロジェクトにおける佐賀大学学生特別奨励金の支援によります。

【本文】

理工学研究科 環境・エネルギー・健康科学グローバル教育プログラム(都市基盤工学コース) [※p. 3 参照] に所属する博士前期課程1年の三瀬 公博さんが、2023年8月22日から10月16日にかけてインドネシア南スラウェシ州マカッサル市におけるハサヌディン大学工学部土木工学科に短期留学しています。この留学は、本学が国際性向上のため推進する戦略的パートナーシッププロジェクトにおける佐賀大学学生特別奨励金の支援によります。

滞在中は同学科の Tri Harianto 教授の指導のもと、講義の受講と修士研究「セメント系固化剤スラリーを用いた地盤改良の品質不良リスクの評価」の一部に取り組みます。インドネシア人の学生とともに現地の土を用いた改良試験を行い、その品質・出来形を明らかにすることにより、品質不良のリスク評価手法の提案に繋げることが期待されています。ハサヌディン大学では大規模な室内試験が可能であること、同試験の実施が容易、サンプル数を多く確保できる、など環境に恵まれているため、多くの優れた結果が得られると期待されます。

渡航当初は生活様式の違いに戸惑うこともあったようですが、インドネシア人学生とのコミュニケーションをうまく図り、活動に集中できる環境を整えた上で講義と研究に取り組んでいます。インドネシア語も積極的に学び、英語のみならず現地の学生が興味を抱く日本語も時折混ぜることによって、円滑な人間関係を築いています。

三瀬さんにとって、この留学を通じて国際的な視野を広げ、研究能力を磨くとともに、異文化理解を深める機会となれば幸いです。

活動の様子は、三瀬さんの Facebook でもご覧になれます。

<https://web.facebook.com/profile.php?id=61550692243119>

(Facebook へのログインが必要です。)



研究室での自己紹介



学生との記念写真



一軸圧縮試験の様子

※理工学研究科 環境・エネルギー・健康科学グローバル教育プログラム（EPGA）について：

本プログラムは、アジア諸国が抱える環境、エネルギー及び健康科学の各分野の問題解決に向けて、わが国のアカデミアがその先導的役割を担うため、各国から外国人留学生を受け入れて人材育成を行うとともに、国際的に活躍できるグローバルな素養を持った日本人学生を育成することを目的に設置されたものです。本プログラムは、文部科学省より国費留学生の優先配置プログラムとして採択されており、2020年10月から開始し、授業はすべて英語で開講されています。

詳しくはこちらをご覧ください。

https://www.se.saga-u.ac.jp/science/international_j.html